

千城台地区学校適正配置

地元代表協議会だより

第8号

千城台地区
学校適正配置
地元代表協議会

平成二十八年度千城台地区地元代表協議会（以下「協議会」）では、平成二十七年度に合意された小学校統合せの組合せを前提に協議を進めてきました。今号では、平成二十八年度に開催された協議会の内容等についてお知らせします。

協議会会長案をもとに議論が活発化

第三十三回協議会（全体会）七月六日

協議会会長からの統合案（平成二十八年三月提示）について、協議を行いました。児童生徒数推計、統合後の学区を想定した通学距離、現在の小中学校の位置をもとにした地域配置バランスなどを確認した上で、協議会各委員それぞれの立場から意見が述べられていました。議論を進めていくためのあくまで「案」として提示された協議会会長案により、予定時間を超えての積極的な協議がなされ、新しい学校をつくっていくという視点が育まれました。

協議会は傍聴することができません。開催日や過去の資料等はホームページをご覧ください。

《千葉市 HP》



第三十四回協議会（分科会）九月七日

統合議論を進めるため、九月二十八日に開催予定であった全体会を延期し、統合せ校での話し合いの場（2校連絡会）を設置し、協議を進めることとしました。併せて、児童同士の交流を行うことについて、学校に依頼することで合意しました。

2校連絡会での情報を共有

第三十五回協議会（全体会）十二月十四日

各2校連絡会での協議状況について、情報を共有しました。統合校の設置場所をどちらにするのかの結論には至りませんが、2校連絡会で具体的な協議を今後継続していくこととしました。



2校連絡会での合意を尊重し前進

第三十六回協議会（全体会）三月一日

各2校連絡会での報告を受け、現状や次年度の方向性について確認しました。南小・旭小からは、統合校の設置場所の最終的な決定を協議会（全体会）をお願いすることとし、決定方法についての合意がなされました。協議等を経て、統合校の設置場所について結論に至りました。（下記参照）

2校連絡会（南小・旭小）からの提案を受け、地元代表協議会（全体会）で協議統合校の設置場所を、現在の千城台旭小学校とすることで合意

1 南小と旭小の2校連絡会

子どもたちによりよい環境を早く整えたいとの強い思いで、両校は話し合いや相互学校見学などを重ねてきました。

そして、3月1日の第36回地元代表協議会（全体会）で決定方法についての合意がなされました。その合意を受け、あらためて各校PTA役員から学校の特色が説明され、協議を経て、投票が行われました。

その結果、統合校の設置場所を現在の千城台旭小学校とすることで合意しました。

要望書の提出・設計・改修工事等を経て、平成33年に新しい統合校が開校となる予定です。

なお、平成29年6月頃に、統合に関する説明会を開催する予定です。

（問合せ先／教育委員会企画課 043-245-5911）

2 北小と西小の2校連絡会

子どもたちのために、なるべく早く統合の方向性を決めていきたいとの思いで、引き続き、統合校の設置場所の決定方法について、具体的な話し合いを進めています。